

表千家不審菴 許状のあらまし

◎稽古について

茶の湯の稽古といえば、薄茶の一服を頂く客の手順を習うことから始まります。

やがて主人としてお茶の一服を点てることを稽古します。薄茶の点前をまず習い、炉や風炉に炭をつぐこと、また更に濃茶とよばれる濃い抹茶の頂き方、その濃茶の点て方などと、少し長い年月を要しますが、お茶の稽古は次々と新しい段階にのぼってゆきます。

茶の湯の稽古の諸々の階程を示すのに免状・許状あるいは免許状、また相伝免状などいろいろの名でよばれながら、いずれもある教課を修得した者に与えられる証書があります。これは各流各派の家元によってその修業課程に応じて授与されるものです。茶の湯の稽古の内容は流派により様々ですが、何百年という稽古の教程の大切な集積です。短時間で修得するのはむつかしいことです。

しかし稽古への意欲を捨てることのないよう、ある期間の稽古をつめば、次第に上級に進み新しい免状を手に来るよう、教課の階程が組まれています。

茶の湯の稽古は点前の手順の修得にとどまるものでなく、すなわち茶を点てる手順、茶を頂く作法にとどまらず、やがて茶の料理（懐石）の法を学び、茶と料理を組合せて「茶事」という客のもてなし方を身につけ、万般の道具の知識、道具の使い方に習熟しなければなりません。

◎許状について

表千家不審菴が発行する免状は、「相伝」の名で呼ばれています。師事する先生を通じて不審菴への「入門」を許された門弟には、その修業課程に応じ、「習事」、「飾物」、「茶通箱」、「唐物」、「台天目」、「盆点」の相伝が伝授されることとなります。

相伝は、表千家不審菴で何百年にもわたって守り伝えられてきた秘伝とされる茶道の教程です。相伝とは、その教程をこれから習うことを許可するといういわば許状（免許状）です。その教程を習得した修了証を意味するものではありません。不審菴から先生を介してその相伝が手渡された段階で、その相伝がもつ意味や教えについて、師事している先生から伝授されます。

相伝が日々の稽古と一体であるという日本古来の文化のあり方を今に伝えるものです。

表千家不審菴 許状のあらまし

種目	あらまし	修業の目安	表千家同門会の入会条件 家元行事への参加条件
入門	表千家不審菴の門弟であることを許す許状です。	(小学生以上) 入門のみの申請も推奨いたします。	表千家同門会 ☞ に入会することができます。 18歳未満の方は学生会員 ☞ に、18歳から40歳(卒業は45歳)までの方は青年部会員 ☞ になることができます。
相伝	習事 (八箇条)	(小学高学年以上)	20歳以上の方は不審菴短期講習会 ☞ に応募できます。
	飾物 (五箇条)	習事より1年以上	
	茶通箱	飾物より1年以上	
	唐物	茶通箱より1年以上 (15歳以上)	
	台天目	唐物より2年以上	
	盆点	台天目より2年以上	

※許状の詳細や申請に関することは、師事されている先生にお尋ねください。

◎「習のはじめ」について

許状ではありませんが、園児・幼児・小学生低学年の子供たちに、表千家茶道との出会いをお祝いする「習のはじめ」を差しあげております。園や小学校などでの[学校茶道](#) [☞](#)、[支部](#) [☞](#)や[青年部](#) [☞](#)での[茶の湯文化にふれる体験学習](#) [☞](#)などでご活用ください。

資格のあらまし

◎師匠と弟子

茶の道の修業は、「生涯稽古」と古来より云われてきたとおり、終わりはありません。稽古を重ね、年功を重ね、経験を重ねていけばいくほど、心は練磨され、茶の湯の深い境涯に到達することができるのでしょうか。そして、その先には、人々や自らの人生を心豊かにする、さらなる楽しみやよろこびが待っていることでしょう。

茶の修養を重ね、茶の指導者を志す方々は、表千家茶道を教える人としての資格を取得し、弟子に茶道の指導をする日が訪れます。

その多くの指導者は、これまでと変わらず、師事してきた先生のもとで弟子としての稽古を続け、そして、指導者として弟子に稽古をつける、という姿勢を保っています。

こうして、連綿と茶の心が、今、生きた文化として伝えられ、次の世代、未来へと受け継がれているのです。

資格には、「表千家准教授」と「表千家教授」の2段階があります。まずは、「表千家准教授」の資格を取得して初めて、ご自身で弟子をもち、表千家茶道を教えることができます。さらに修養を積み重ねれば、「表千家教授」を取得することができます。

種目	あらまし	修業の目安	行事等への参加
表千家准教授	表千家茶道を教えることができます。 木札、任定書が授与されます。 自身が伝授されている相伝の一段階下の種目まで取り次ぐことができます。	同門会員であること 唐物以上取得の方 右の講習会受講を申し出た方	「表千家准教授のための講習会」を受講することができます。
表千家教授	木札、任定書が授与されます。 盆点まで取り次ぐことができます。	同門会員であること 盆点取得後2年以上 表千家准教授のための講習会を修了された方	「表千家教授のための講習会」を受講することができます。
表千家教授会会員	家元を囲む表千家教授の方々の会です。	表千家教授のうち不審菴・同門会への貢献が多大な方	家元での「表千家教授会の集い」に参加することができます。 家元本部行事の優先案内が受けられます。

不審菴入門相伝等料金

		一般	学生
種目		申請料	申請料
入門		10,000 円	3,000 円
相伝	習事	20,000 円	5,000 円
	飾物	20,000 円	5,000 円
	茶通箱	40,000 円	
	唐物	70,000 円	
	台天目	100,000 円	
	盆点	200,000 円	
	表千家准教授 (表千家講師からの移行)	70,000 円 (15,000 円)	
表千家教授	150,000 円		

※不審菴への申請料は以上のとおりです。

※師事されている先生へのご挨拶等については
直接先生にお尋ねください。

表千家同門会費と不審菴納付金

		種別	年間納入額	入会金
表千家同門会費	普通会員		12,000 円	2,000 円
	学生会員 (18 歳未満)		3,000 円	2,000 円
	青年部会員 (18 歳 - 40 歳)	*	6,000 円	2,000 円
	青年部会員 (41 歳 - 45 歳)		12,000 円	2,000 円
不審菴納付金	表千家准教授		13,000 円	
	表千家教授		18,000 円	
	不審菴入門者「一口寄附」 🔗 *		1 口 5,000 円 (上限 100 口)	

*表千家准教授、表千家教授は 12,000 円

*広く数寄者の方、団体各位からの篤志も申し受けます。[🔗](#)